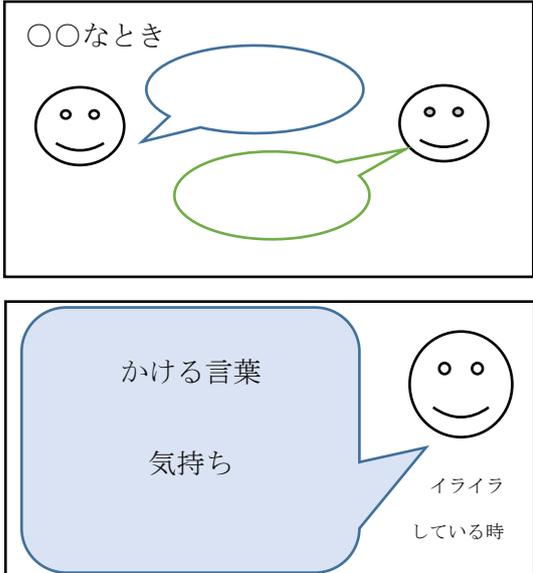
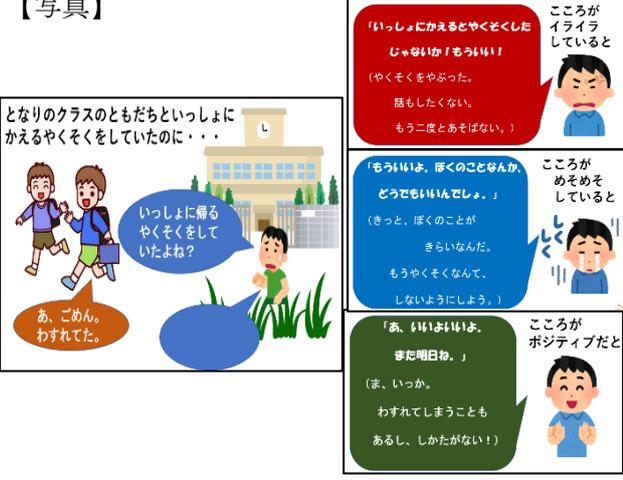


自作教具の活用事例

<p>【作品名】 レッツ ポジティブ シンキング！</p>	<p>【学校名】 日立市立成沢小学校</p>
<p>【活用できる領域・教科等】 自立活動（ソーシャルスキルトレーニング）</p>	<p>【制作者名】 佐藤 睦</p>
<p>【制作の意図】 児童にとって、生活の中での苦手な場面を取り上げ、ポジティブに考えることができるようにする。児童が場面を理解できるように、イラストで示す。また、イライラしている時、めそめそしている時、ポジティブに考えられる時、それぞれの心の状態のときの言葉や気持ちも提示し、ポジティブに考えることの良さに気付かせる。</p>	<p>【使用方法】 児童にとって苦手な場면을提示し、場面を理解できるようにする。イライラしているとき、めそめそしている時、ポジティブに考えられる時の言葉や気持ちを提示して、ロールプレイを行い、ポジティブに考えることの良さに気付けるようにする。また、自分ならどんな言葉をかけるかを考え、ワークシートに記入し、ロールプレイを行う。</p>
<p>【制作上の工夫】 インターネット上にある無料のイラストを使用し、状況に合うイラストを貼り付けて、場面を作成する。吹き出しに、かける言葉や気持ちを書き込むことで、状況を視覚化する。何度も使用できるように、ラミネートしておく。 「廊下を走って注意されたとき」、「一緒に遊ぼうと声をかけたら、断られたとき」、「苦手な分野の学習のとき」など、様々な場面のイラストを作成した。</p>	<p>【見取り図】</p> 
<p>【写真】</p> 	<p>【使用効果と応用発展】 日常生活の中で、友達が失敗したり、落ち込んだりしているのを見かけた時に、「ポジティブシンキングだよ！」と声をかけ、励ましている様子が見られた。 授業の中では、タブレットを使用し、自分が考えた言葉をもとに、ロールプレイしている場面を動画撮影した。動画を撮ることで、何度も見返すことができるようにし、自分の姿を客観的に見たり、友達の考えや発表の良いところを見つけたりできるようにした。</p>
<p>【材料・材質・部品等】 無料のイラスト 吹き出しの枠 ラミネートフィルム</p>	